

警備保障タイムズ

平成26年2月11日(火曜日) <第64号>

城
発

参拝者の安全確保 竹駒神社の初詣を警備

【報告 トスネット】

トスネット(仙台市、佐藤康廣会長) 岩沼営業所は、12月31日から1月1日にかけて、竹駒神社(宮城県石巻市)初詣の交通規制・雑踏警備を行った。

この業務は、来訪する多数の客が安心して参拝できるように、警察と連携をとり安全かつ円滑に誘導、付近の道路・駐車場の整理を行うとともに、参拝者と車両の接触事故の未然防止を図ることを目的とした。配置人員は、警備本部に警備隊長1人、周辺道路に夜間22人・昼間21人、神社境内に9人。12月31日22時より、まず15人が指定の場所ですべて周辺交通規制を開始した。

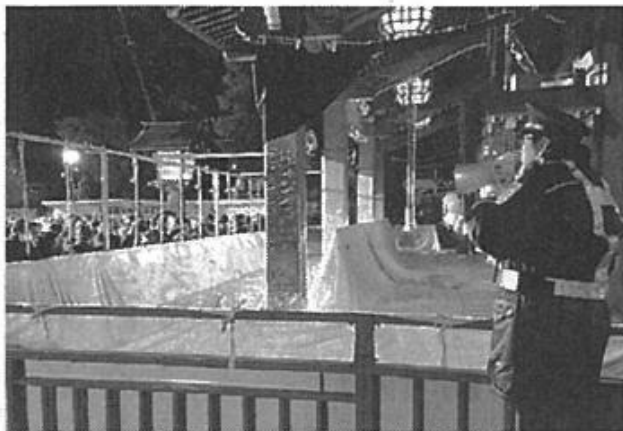
日本三大稲荷のひとつである竹駒神社は、仙台・亘理・大河原など付近地域のみならず他県からも参拝者が訪れ、相年大晦日から三が日で合計50万人近くの人出となる。これは、県内でも1、2を争う有数の祭礼であり、ペット連れで参拝に来る人や酔客も多

い。所轄警察署との事前の綿密かつ入念な計画立案と準備が要求された。

事前の計画段階で、特に重点ポイントとして予測・警戒したのは、次の事項についてだった。

①市内を通行する一般車両と参拝者の車両の錯綜②駐車場待ち、あるいは帰宅車両による付近道路の渋滞③参拝者の付近道路への路上駐車による周辺道路の渋滞④シャトルバスと一般車両の混在による参拝者輸送の遅滞⑤参拝者と一般車両の接触⑥喧嘩など、酔客と警備員・一般の客とのトラブルの6項目に関して特に注意した。

警備は1日の17時まで続けられ、適正な業務を遂行した結果、今年も参拝客の安全を守りきった。昼夜とも現場指揮をとった村上哲也隊長は「誘導に際しては態度や言葉遣いに注意し、来年以降も参拝者が安心して安全に参拝に訪れるよう留意した」と話す。



社殿への侵入者を警戒



参拝者への案内広報 (トスネット提供)